

コミュニケーション英語 I

教科	外国語	単位数	3	学科・学年	工業科 1 年生
使用教科書	「VISTA English Communication I」 (三省堂)			副教材等	・「VISTA English Communication I ワークブック」

◇ 学習の到達目標 ◇

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育て、情報や話し手の考えなどを理解して自分の考えを英語で伝える基礎的な能力を養う。朝学習(R-time)で基本的な語彙の定着を図る。

◇ 科目の特色 ◇

「コミュニケーション英語 I」では、各単元のトピックに合わせて精読や速読を通して英語で書かれた文章の理解を図るとともに、中学校で習った文法の復習やコミュニケーション活動を行います。

◇ 学習の計画 ◇

月	単 元 名	主 な 学 習 活 動
4 6	Lesson 1 <i>Kerama Blue</i> Lesson 2 <i>Cool Japan</i> Lesson 3 <i>Mexican Dishes</i> Lesson 4 <i>The Olympics</i>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 珊瑚礁の海が地球に果たす役割を考え、意見を述べる。 ・ “It's cool!” を会話で使い、その理由を説明できる。 ・ メキシコ料理が外国の食材を取り入れていることを知る。 ・ 近代オリンピックの歴史を学び、その意義を考える。 <p style="text-align: right;">【前期中間考査】</p>
7 9	Lesson 5 <i>Baobabs in Madagascar</i> Lesson 6 <i>Toothbrushing in Edo</i> Lesson 7 <i>Machu Picchu</i>	<ul style="list-style-type: none"> ・ バオバブの直面している問題について知る。 ・ 江戸時代の習慣について英語で知り、今の日本と比較する。 ・ 世界遺産マチュピチュの謎を考え、興味・関心を高める。 <p style="text-align: right;">【前期期末考査】</p>
10 11	Lesson 8 <i>Motala and Landmines</i> Lesson 9 <i>Dick Bruna</i>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地雷の撤廃や使用禁止に向けた取り組みについて考察する。 ・ ミッフィーの作者、ディック・ブルーナ氏について知る。 <p style="text-align: right;">【後期中間考査】</p>
12 3	Lesson 10 <i>Tsujii, the Great Pianist</i> Lesson 11 <i>Ideas from Nature</i> Lesson 12 <i>Steve Jobs</i>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ピアニスト、辻井伸行氏の生き方について考える。 ・ 自然をヒントにした製品について知り、使い道を考える。 ・ 言葉に秘められた力について考え、自分の気持ちを述べる。 <p style="text-align: right;">【後期期末考査】</p>

◇ 評価の観点・方法 ◇

評価は、次の四つの観点から行います。

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心をもち、話し合ったり意見の交換をするなど言語活動を行い、積極的にコミュニケーションを図ろうとしているか。
外国語表現の能力	外国語で聞いたり読んだりしたものの概要や要点を、聞き手に伝わるように音読したり、その内容について簡潔に書くことができるか。
外国語理解の能力	説明や物語、事物に関する紹介や対話などを外国語で聞いたり読んだりして、情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえることができるか。
言語や文化についての知識・理解	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解しているか。

具体的には、次の項目を評価の対象とします。

- ①授業に取り組む姿勢(コミュニケーション活動を含む) ②定期考査
 ③小テスト(教科書の語句、単元の復習) ④ノート ⑤ワークブック
 ⑥授業で活用するプリント ⑦長期休業中の課題と課題テスト

また1年間の評定は、前期・後期の年間を通して、上記の内容を総合的に判断して決定します。

◇ 担当者からのメッセージ ◇

まずは「予習→授業→復習」の学習サイクルを身に付けましょう。英語が苦手という人でも、授業でのプリントやノートを確認して内容をつかめるように努力しましょう。英語で書かれた文章を声に出して読むことも大切な学習法です。繰り返し発音することで、英語の音とリズムに慣れましょう。慣れれば自分の意見や考えを英語で積極的に発言できるようになります。慣れるまで続けましょう。

